

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	土地区画整理事業	コード	担当課係	都市整備課都市計画係
		01-01-06-01	担当者	牛房裕二
事業実施期間	昭和49年～		電話	0869-64-1834
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	土地区画整理		
	施策	土地区画整理事業の見直し		

事業について	
目的	都市基盤の整備や、密集地の環境改善など一定地域を総合的に整備し、合理的な土地利用を推進するため、速やかな整備、充実を積極的に推進するため
対象(誰のために)	市の活性化と人口の定住化のため
内容	計画の検討、土地区画協議会会員として要望や意向、アンケートの提出をすること及び会費の納入の事務。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
要望・意見書の提出	1回		
会費納入事務	1回		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	20	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	0	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	20	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.00	人		人
結果指標名	要望・意見書の提出			
結果指標量	1			
単位	回			
対前年比	—		0.00%	
事業費	20,000	円		円
単当たりコスト①	20,000	円		円

結果指標名	要望・意見書の提出			
結果指標量				
単位				
対前年比	—			
事業費		円		円
単当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	要望・意見書の提出回数	式又は説明	現在事業休止中
成果指標量	17年度 1回		
対前年比	—	#VALUE!	
到達目標値	100%	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	土地区画整理事業について速やかな整備、充実に積極的に推進するため、協議会に要望書などを提出する必要がある。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
市の関与の妥当性	市の関与の妥当性	
	市民の関与の妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	事業が実施できるように、他部署と連絡調整を行い、要望、意見の集約につとめる。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	現在は事業をしていないため、協議会への加盟の必要性について検討する。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	現在、土地区画整理事業は中断していることや、市町合併による新都市計画のうえからも、今後事業を検討していくことが必要である。	D

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	1	結果指標量②
目標値	成果指標量	100%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	土地区画整理事業は市にとって必要な事業か否かの検討を行う	毎年	事業の方向性が具体的になる